

調査3、問① 修学旅行終了後、事後指導としてどんなことを行っていますか。

調査3、事後指導	①学級の反省会(発表会)		②学年集会で反省会(発表会)		③学級(学年)の文集をつくる		④記録写真等の展示		⑤文化祭(展覧会)に出す(写真等)		⑥その他	
	東	海	東	海	東	海	東	海	東	海	東	海
東	64	65	22	23	40	37	40	29	37	30	4	9
海	54	55	22	16	17	22	24	29	30	37	6	6
近	76	63	71	34	26	34	35	23	37	44	4	3
計	194	183	194	78	65	91	94	87	96	102	103	110

2、現地での指導(続き)

問② 問題行動の発生で、困った事例があったらいくつかあげ、その対応等について、簡単に書き下されたい。

(1)出発時に発生するもの
この件はほとんどが服装や、持物についての違反である。このことについては、事前指導で各学校とも入念に指導しているにもかかわらず発生する。その対応をみると、いずれも厳しく断固として服装を改めるまで指導し、違反をやむやみしない様子が見える。この指導のあり方が、その後の旅行の規律のあり方を決定付けるからである。

(2)昼間の行動中に発生するもの
他校生や一般人とのトラブル、病人、万引の順となつていく。この大半は「にらみあい」、口論等で納まっているが、実際に手を出して傷害事件になったケースもある。他校生との間では、双方の教師が仲入るので件数は多いが解決は早い。一般人の場合は、責任者として校長まで登場するが、難題が多い。相手方が暴走族、ヤクザの場合は警察の登場となっている。

(3)宿舎内で発生するもの
万引の場合は土産物店での起るの、旅行中一箇所だけを指定してこの店で教師も共に買物して防犯しているとの報告もある。

(4)喫煙、飲酒
病人については、一生に一度

3、事後指導

問③ 事後指導としてどんなことを行っていますか。

各学校とも修学旅行をその場限りのお祭り騒ぎとせず、長く記憶に留めてほしい思い出作り、知恵を絞って行っている。修学旅行の教育的効果を持続させることとは、事後の学校経営にとつて極めて重要なことである。

問④ 問題行動発生後、修学旅行に参加したため教育上の影響についてあげて下さい。

A 好影響

A-1 好影響— について
(イ) 生徒相互の関係について
一般に学級から孤立、遊離していた問題生徒と、これを無視したり、傍観していた一般生徒とが、三日間の生活を共にする身近な班行動により、お互をよく知り、理解し合う絶好の機会となつて、この旅行を契機と



して抵抗なく自然に級内へ溶け込んだ例が数多く報告されている。古来から古くされている言葉であるが、同じ釜の飯を食った者どうしの間に湧き出する親近感の発生が、相互理解を容易にし、好ましい学級集団への回帰が起つたのである。日常の授業では得られない宿泊を伴う学校行事、修学旅行の教育的意義を再確認した。

(ロ) 教師と生徒との関係について
これについても幸いと同様である。教師と生徒との接触の機会が事前指導の場にも数多く

B 悪影響

B-1 悪影響— について
(イ) 一般生徒に対する影響
教師の大半のエネルギーが問題生徒の指導に費やされ、一般生徒に対する指導や配慮が極めて手薄となる。

(ロ) 同室、同班の者が寝不足や、規則破りの強制等によって多大の迷惑、不快感を受ける。

(ハ) 問題行動に対する教師による度々の注意、指導によって、旅行団の雰囲気が悪化し、すべての活動が消極的となる。

(ニ) 問題行動の指導に時間がかかり、見学個所のカット、時間短縮が余儀なくされ、期待はずれの感を深くする。

学校教育の課題に 応える修学旅行

文部省教科調査官
高橋 哲 夫

最近の子どもの姿を特に問題行動からみた場合、修学旅行の果たす役割はますます重要になってくると思われる。

生徒指導上の課題は、たとえばいかに子どもたちに自己

(イ) 問題行動に対する影響
同じ顔ぶれどうしの者が度々注意を受ける場合が多く、これによって悪い方向への団結が強まる。

(ロ) 近隣の学校と連合するので、他校との仲間作りが進展する。

(ハ) 未知の刺激や、より重度の非行化現象(服装等)を見出し、自尊心は薄れ、非行化を促進する。

(ニ) 教師に対する影響
二三日の絶え間のない緊迫した指導の連続で、心身共に疲労が極限に達する。

(ホ) 旅行を契機とする非行化の進行(他校との連合、グループの結果強化等)によって、事後の生徒指導が一段と困難性を増す。

(ヘ) その他
旅館、バス会社、土産物店、

情報の洪水の中で 修学旅行の教育的意義

筑波大学教授
加藤 隆 勝

現在の青少年は、マスコミの提供する情報洪水の中で生活している。しかもテレビに代表されるように情報の映像化が進み、個人は茶の間で世界の事件を見つめ、各地の風物、文化に触れることができる。このように間接経験の拡大と反比例

修学旅行は特別活動に位置づけられてはいるが、機能的には総合的な教育活動である。したがってその内容を充実させることがすなわち生徒指導及び学習指導の効果高め、学校教育の課題に答えることになる。

そのためには、他の旅行的行事や教科の移動教室などの違い、修学旅行の特質を明確にし、なら、しかもこれら他の教育活動との密接な関連を図ることが大切であろうと思われる。

◎実態調査を終えて

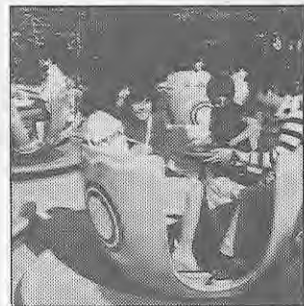
ここに三カ年にわたる「中学校修学旅行の実態調査」をしめくくるに当たり、調査にご協力をいただいた各校に深く謝意を表したい。

特に三地区修学旅行の会長をはじめとし、十四府県修学旅行委員長の方々には公務多端の折にもかかわらず、期日を守って、集計報告の業務について、多大のご苦労、ご協力を賜ったことに対し衷心より御礼申し上げる次第である。

各先生方のご努力に報いるためにも、この集計分析報告が、今後の修学旅行の改善向上をめざす資料として、お役にたつことを祈念して報告を終る。

都心に浮かぶ遊びランド、後樂園。

東京のど真中! 若者の歓声渦巻く後樂園ゆうえんち、レジャーランドとしては飛びつきバラエティです。後樂園球場が一望できるスカイフラワー、ド迫力のエンタープライズなど25機種そろって、もうわくわく! どきどき! の連続です。是非一度、後樂園ゆうえんちへご来園ください。



後樂園ゆうえんち

(〒112) 東京都文京区後楽1-3 後樂園スタジアム ☎(03)811-2111・大代表

